

購買管理課

課長 小倉 夢

1. はじめに

2025 年は、2024 年 10 月の組織再編により、従来の施設用度課が、施設設備の管理を主とする「施設設備課」と、購買管理を主とする「購買管理課」に分かれ、当課として初めて通年での運用した年である。

2. 部署体制

購買管理課は、医療機器・医療材料の調達、契約管理、価格交渉、在庫管理を担う部署として運用を開始した。2025 年の人事は以下のとおり。

- ・4 月 1 名入職。計 5 名の課員となった。
- ・12 月 2 名が主任心得へ昇格。業務分担およびマネジメント体制の整備が進みつつある。

3. 主な取り組み

(1) 戦略的購買の推進

医療機器・医療材料の調達において、以下の取り組みを実施し、診療現場への情報提供と購買部門の関与強化を進めた。

- ・新人研修におけるコスト意識啓発（償還材料・非償還材料の説明等）
- ・採用品目集約に向けた検討
- ・高額医療機器に関する早期ニーズ把握と補助金活用を見据えた調整

(2) 業務効率化（DX 推進）

定型業務の効率化を目的として、業務プロセスの見直しを実施し、業務の標準化と作業時間の短縮を図った。

- ・納品書・請求書処理のデジタル化検討および一部運用
- ・現場提案資料のフォーマット化
- ・手入力業務の削減に向けた業務整理

(3) 災害時備蓄の整備

災害対応力の強化を目的として、医療材料および一般消耗品の備蓄体制の整備に着手した。

- ・2 週間分の備蓄基準の設定
- ・不足物品の洗い出し
- ・保管および管理方法の整理

(4) 契約管理の強化

取引先との契約適正化を目的として、契約書の整備を推進した。

- ・SPD 業務に関する契約内容の整理および締結対応
- ・リネンリース契約の整備
- ・既存委託業務に関する契約状況の棚卸し

4. 総括

2025 年は、購買管理課としての体制整備と業務の整理を進めた 1 年であった。戦略的購買の推進、業務効率化、災害備蓄の整備、契約管理の強化といった各取り組みを通じて、購買管理の基盤づくりを進めることができた。人員体制の見直しや業務の委譲を進める中で、運用の定着や体制のさらなる強化に向けた取り組みを継続していき、次年度以降のさらなる発展につなげていく。